

## 幼児教育学科

科目名: 保育実践演習			担当教員 氏名: 石津 孝治						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	専門科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
保育の心理学領域の演習。主に心理学的援助と子どもの発達、遊びに焦点を当て、受講生が自主的にテーマを設定し、原則として後期の「保育心理演習」とセットとし、1年かけて掘り下げていく。ガイダンスと、個別指導によるテーマ決定の後、各自が設定したテーマについて、個人またはグループで発表しディスカッションを行う。					・心理的援助 ・発達				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			設定したテーマについて深く理解できる。						
B 専門的技術			対人援助の基礎的技法が習得できる。						
C 論理的思考力			設定したテーマを追求し、その成果として総合演習集が作成できる。						
H コミュニケーション力			発表場面等で適切に伝えられる。また、ディスカッションできる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	50 %	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 (ディスカッション) デベート グループワーク (プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回の課題についてコメントを伝える。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法など)									
②各自が取り組みたい内容、発表したい内容についてディスカッションと個別指導(1)					予習 自分で選んだ文献を読む。	予習30分			
③各自が取り組みたい内容、発表したい内容についてディスカッションと個別指導(2)					予習 自分で選んだ文献を読む。	予習30分			
④各自が取り組みたい内容、発表したい内容についてディスカッションと個別指導(3)					予習 自分で選んだ文献を読む。	予習30分			
⑤子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論1					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑥子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論2					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑦子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論3					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑧子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論4					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑨子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論5					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑩子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論6					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑪子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論7					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑫子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論8					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑬子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論9					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑭子どもの発達、心理学援助等に関する文献等の発表と討論10					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
⑮まとめと発表					発表者は発表内容を構成し資料を作成する。	予習30分			
使用テキスト:					その他参考文献など: 学生の課題に応じて紹介する				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									